

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第1部門第2区分

【発行日】平成23年10月6日(2011.10.6)

【公開番号】特開2010-46326(P2010-46326A)

【公開日】平成22年3月4日(2010.3.4)

【年通号数】公開・登録公報2010-009

【出願番号】特願2008-213813(P2008-213813)

【国際特許分類】

A 46 D 1/00 (2006.01)

A 46 B 15/00 (2006.01)

A 46 D 1/08 (2006.01)

【F I】

A 46 D 1/00 101

A 46 B 15/00 Z

A 46 D 1/08

【手続補正書】

【提出日】平成23年8月19日(2011.8.19)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

外周面の長手方向に凹部又は／及び凸部を螺旋状に形成した合成樹脂モノフィラメントからなるブラシ用毛材であって、該毛材は、クリンプ状に形成したクリンプ状部を有していることを特徴とするブラシ用毛材。

【請求項2】

外周面の長手方向に凹部又は／及び凸部を螺旋状に形成した合成樹脂モノフィラメントからなるブラシ用毛材であって、該毛材は、螺旋状に形成した螺旋状部を有していることを特徴とするブラシ用毛材。

【請求項3】

外周面の長手方向に凹部又は／及び凸部を螺旋状に形成した合成樹脂モノフィラメントからなるブラシ用毛材であって、該毛材の先端部は、直線状に形成した直線状部を有していると共に、前記先端部以外は、クリンプ状に形成したクリンプ状部又は／及び螺旋状に形成した螺旋状部を有していることを特徴とする請求項1又は2に記載のブラシ用毛材。

【請求項4】

塗装等に使用されるハケにおいて、該ハケは、毛材を束ねてなるハケ部と、取っ手部とを有するものであって、前記ハケ部は、請求項1～3のいずれか1項に記載のブラシ用毛材を使用してあることを特徴とするハケ。

【手続補正2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0008

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0008】

請求項1の発明では、外周面の長手方向に凹部又は／及び凸部を螺旋状に形成した合成樹脂モノフィラメントからなるブラシ用毛材であって、該毛材は、クリンプ状に形成した

クリンプ状部を有していることを特徴としている。したがって、凹部や凸部が被洗浄面に接触することによって摩擦力がアップするので、汚れを効率よく掻き出すことが出来ると共に、洗浄液等の液体が、洗浄時に螺旋状の凹部や凸部で保持されるので、洗浄性能が向上する。また、塗装用のハケに、この毛材を用いた場合、螺旋状の凹部又は凸部が塗料を保持すると共に液分が滞留する事が無く、順次新しい液分が凹部又は凸部に保持される為、塗料の垂れ流しが防止できると共に、満遍なく、均一に塗料を塗布することが出来る。さらに、クリンプ状部を有していることによって、毛材の強度を増加させることができると共に、塗料の急激な降下を防止することができる。なお、クリンプ状部とは、纖維が縮れている状態の部分の事であり、毛材に弾力性や保温性を付与できる。

【手続補正3】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0009

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0009】

請求項2の発明では、外周面の長手方向に凹部又は/及び凸部を螺旋状に形成した合成樹脂モノフィラメントからなるブラシ用毛材であって、該毛材は、螺旋状に形成した螺旋状部を有していることを特徴としている。したがって、凹部や凸部が被洗浄面に接触することによって摩擦力がアップするので、汚れを効率よく掻き出すことが出来ると共に、洗浄液等の液体が、洗浄時に螺旋状の凹部や凸部で保持されるので、洗浄性能が向上する。また、塗装用のハケに、この毛材を用いた場合、螺旋状の凹部又は凸部が塗料を保持すると共に液分が滞留する事が無く、順次新しい液分が凹部又は凸部に保持される為、塗料の垂れ流しが防止できると共に、満遍なく、均一に塗料を塗布することが出来る。さらに、螺旋状部を有していることによって、毛材の強度を増加させることができると共に、塗料の急激な降下を防止することができる。なお、螺旋状部とは、纖維が螺旋状に旋回している状態の部分の事であり、毛材に弾力性や保温性を付与できる。

【手続補正4】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0010

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0010】

請求項3の発明では、請求項1又は2に記載の発明において、外周面の長手方向に凹部又は/及び凸部を螺旋状に形成した合成樹脂モノフィラメントからなるブラシ用毛材であって、該毛材の先端部は、直線状に形成した直線状部を有していると共に、前記先端部以外は、クリンプ状に形成したクリンプ状部又は/及び螺旋状に形成した螺旋状部を有していることを特徴としている。したがって、凹部や凸部が被洗浄面に接触することによって摩擦力がアップするので、汚れを効率よく掻き出すことが出来ると共に、洗浄液等の液体が、洗浄時に螺旋状の凹部や凸部で保持されるので、洗浄性能が向上する。また、塗装用のハケに、この毛材を用いた場合、螺旋状の凹部又は凸部が塗料を保持すると共に液分が滞留する事が無く、順次新しい液分が凹部又は凸部に保持される為、塗料の垂れ流しが防止できると共に、満遍なく、均一に塗料を塗布することが出来る。さらに、クリンプ状部を有していることによって、毛材の強度を増加させることができると共に、塗料の急激な降下を防止することができる。また、螺旋状部を有していることによって、毛材の強度を増加させることができると共に、塗料の急激な降下を防止することができる。さらに、先端部に直線状部を有していることによって、先端部は塗料がスムースに流れ落ちて塗装ができる。その為、被塗装面に毛材の跡がつき難く、均一な塗装を行うことができる。

【手続補正5】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0011

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0011】

請求項4の発明では、塗装等に使用されるハケにおいて、該ハケは、毛材を束ねてなるハケ部と、取っ手部とを有するものであって、前記ハケ部は、請求項1～3のいずれか1項に記載のブラシ用毛材を使用してあることを特徴としている。したがって、凹部や凸部が被洗浄面に接触することによって摩擦力がアップするので、汚れを効率よく掻き出すことが出来ると共に、洗浄液等の液体が、洗浄時に螺旋状の凹部や凸部で保持されるので、洗浄性能が向上する。また、塗装時においては、螺旋状の凹部又は凸部が塗料を保持すると共に液分が滞留する事が無く、順次新しい液分が凹部又は凸部に保持される為、塗料の垂れ流しが防止できると共に、満遍なく、均一に塗料を塗布することが出来る。さらに、クリンプ状部を有していることによって、毛材の強度を増加させることができると共に、塗料の急激な降下を防止することができる。また、螺旋状部を有していることによって、毛材の強度を増加させることができると共に、塗料の急激な降下を防止することができる。さらに、先端部に直線状部を有していることによって、先端部は塗料がスムースに流れ落ちて塗装ができる。その為、被塗装面に毛材の跡がつき難く、均一な塗装を行うことができるハケである。